

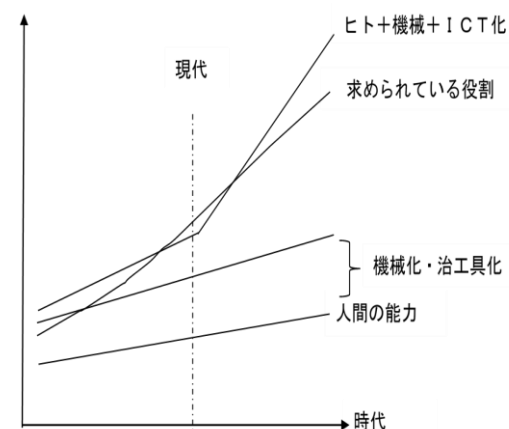
～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆西山語録／DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組み

① 「DXは生きるための必須要件」

求められる役割と人間の能力にはギャップがある。そのギャップを埋めるため、これまでは機械化・治工具化をプラスしてやってきた。現代はそれだけでは足りず、そこにICT化が必要になる。ICT化が加わることで人間の能力を超人化し、求められる役割を果たすことができる。

DXへの取り組みは、これまでの「生きるための挑戦」から「生きるための必須要件」となっている。激しく変化するビジネス環境下ではDX変革は急務となっている。



② 人と人との繋がりのウェイトがあがる

誰でも出来る部分はICT化に替わるが、「あの人しかできない」という部分は残る。これからICT化が進めば進むほど、人と人との繋がりが重要な要素になる。それぞれの人の関係性を考えながら、連携プレーの仕方を考えなければならない。両者間の人間関係だけではなく、相手に関係する社会・自分が関係する社会、それを取り巻く社会までを考えて動かなければならない。一人だけで完結する仕事はない。今後ますます人と人との繋がりが重要になってくる。

～DXへの取り組み事例のご紹介／カクイ株式会社～

カクイ株式会社ではDXを単なる「業務の効率化」としてだけではなく、「企業の優位性を確立すること」として捉え、積極的にDXへの取り組みを始めています。その中で2020年7月より展開されているデジタル営業の一部をご紹介します。

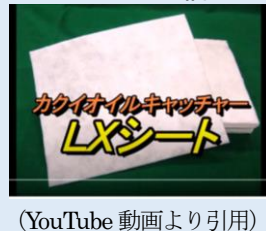
1. アバターによる製品案内



2. AIチャットボットによる対応

3. リモートによるコミュニケーション

4. YouTube 配信



◆誰でも使えるBSOナレッジ

誰もが自分の仕事に有効活用することができるBSOの「ナレッジマネジメントシステム」。今回はその中から、「人は信じて仕事は信じるな」「二流の企画で一流の考働」についてご紹介していきます。

《人は信じて仕事は信じるな》

どんなに素晴らしい人でも間違えるときはある。その人のことは100%信じて良いが、その人がおこなった仕事に対しては100%信じてはいけない。「間違っているかもしれない」と常に疑いの目で見ることが必要。自分自身は正しいと思って行動しているため、第三者視点でなければ、気づけない間違いもある。

《二流の企画で一流の考働》

二流の企画であっても、一流の考働が発揮できれば一緒に仕事をする楽しさがあり、相手に感動を与えることができる。一流の企画は誰でもできるわけではないが、一流の考働は努力と工夫次第で、誰にでもできる。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただくために発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

